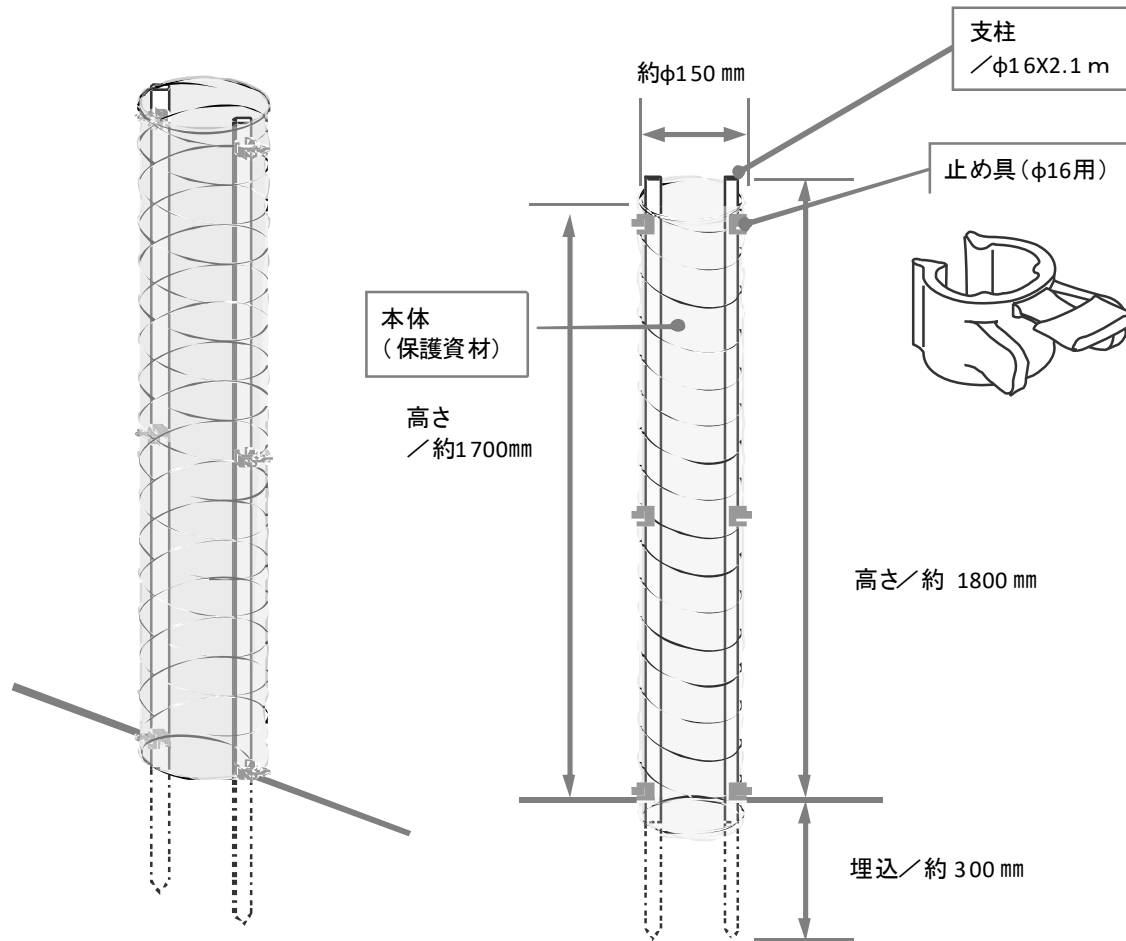


保護管設置仕様書

1. 作設標準図



2. 使用材料【1セットあたり】

部材名	規格・材質	数量
本 体	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 ; <ul style="list-style-type: none"> ●筒部分 ; ポリエステル樹脂+ポリエチレン樹脂 ●らせん芯材 ; ポリエステル樹脂 ・規格 ; <ul style="list-style-type: none"> ●口径 : 約 150 mm ●高さ(伸長時) : 約 1700 mm 芯材のピッチ : 30.0 mm <p>※ポリエステル、ポリエチレンフィルムを直行積層したものを平織加工し、シートに貼り付けた筒状のもの。</p> <p>※設置後、地面との隙間が空かない伸縮機能があるもの。</p>	1本
支 柱	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 ; 被覆鋼管支柱 ・規格 ; φ16mm × 2,100 mm 	2本
止め具	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 ; ガラス繊維入 ポリプロピレン樹脂 ・規格 ; φ16用 <p>※開き防止ストッパー付</p>	6ヶ

注意事項

- ・山側から土砂・雪等に倒されることのないよう支柱を山側に1本入れ、落下物を左右に逃がすよう設置する。
- ・使用資材については、作設標準図及び使用材料に示すものを参考とし、資材等は受注者が調整のうえ、監督職員と調整後に設置するものとする。